

中央博物館自然誌シンポジウム

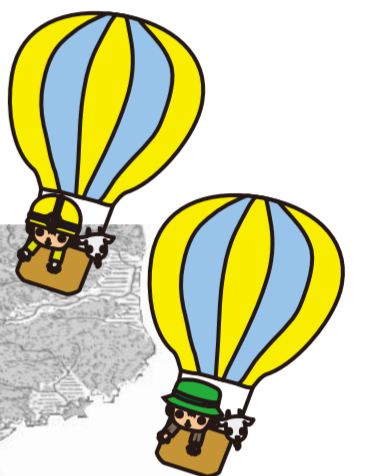
大地の成り立ちを調べ、未来に備える

平成30年5月26日(土) 10:00～16:00

千葉県立中央博物館講堂(1階)

定員150名(当日先着順, 無料, 事前申込み不要)

大地の成り立ちを調べ...



講演①「利根川改変と自然災害」 10:15～

葛飾区郷土と天文の博物館学芸員 橋本 直子氏

講演②「文化財って、災害の記憶も伝えるの？」 11:15～

元文化庁主任文化財調査官・日本ジオパークネットワーク理事
桂 雄三氏

(昼食・休憩) 12:05～13:00

講演③「地震がつくった房総の大地」 13:00～

産業技術総合研究所地質調査総合センター活断層・火山研究部門
海溝型地震履歴研究グループ長 穴倉 正展氏

講演④「沖積低地の成り立ちから、自然災害について考える」 14:00～

奈良大学特命教授・名古屋大学名誉教授 海津 正倫氏

(休憩) 14:50～15:05

五百沢智也氏作「関東平野地貌図」を基に作成



未来に備える

質疑応答・総合討論 15:05～

「私たちは、自然災害に対して、どう備えたらいいのか？」

主催：千葉県立中央博物館 千葉市中央区青葉町 955-2 (青葉の森公園内)

電話：043-265-3111 (代), 043-265-3879 (地学研究科 八木)

www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1521018436831_index.html